

新型コロナウイルス感染症にかかる学生・教職員の連絡方法及び連絡体制の変更について

1月になり、変異株（オミクロン株）による沖縄県内の新型コロナウイルス感染症感染者数がこれまでにない拡大を見せており、本学においても、多数の陽性者及び濃厚接触者の報告が寄せられております。

これまで、報告があった場合は、所定の「受信メモ」を作成し、必要に応じ報告者へさらなる聴き取りや確認などしておりましたが、この従来の方法では学生及び教職員等の対応に遅れを生じさせることがあるため、今後は以下のように対応をお願いいたします。**大学への連絡についても、Forms 入力（スマホ等から2～3分で入力完了）に変更しました。文末にForms へのQRコードを掲載しております。**

また、以下のいずれかに該当する場合は、**通学・通勤をお控えください。**  
(担当教員や上司と相談の上、遠隔授業の受講・在宅勤務を可とします。)

なお、以下の①～④に該当しないが濃厚接触等の疑義がある場合は、各部局等総務担当又は保健管理センターへご確認ください。

#### **① 医療機関受診又はPCR検査を受け「陽性」と判定された者**

- ・保健所から療養を指示された場合はそれに従い、指定の期間は療養に努めること。  
療養期間の指示がない場合は保健管理センター（098-895-8144）へ相談すること。
- ・学生は指導教員及び各授業科目の教員へメール等により陽性であること及び療養期間を報告すること。教職員は上司又は総務（労務）担当へ報告すること。

#### **② 発熱、頭痛・咽頭痛など症状がある者**

- ・平日日中（8:30～17:15）は沖縄県のコールセンター（098-866-2129）又は保健管理センターへ相談すること。
- ・土日祝日及び時間外は沖縄県のコールセンターへの相談や発熱外来等への相談を行うこと。（症状があれば速やかに）
- ・相談した後の対応や結果については、学生は指導教員（必要に応じ各授業科目担当の教員も）へ、教職員は上司又は総務（労務）担当へ報告すること。

#### **③ 保健所から「濃厚接触者」と判定された者**

- ・保健所から指示された期間の自宅待機等を行うこと。  
自宅待機期間の指示がない場合は保健管理センター（098-895-8144）へ相談すること。
- ・学生は指導教員及び各授業科目担当の教員へメール等により濃厚接触者となったこと及び自宅待機等の期間を報告すること。教職員は上司又は総務（労務）担当へ報告すること。

※保健所の指示を受けた陽性者から連絡があった場合も含まれます。

#### ④ 濃厚接触の疑いがある者

- ・保健所の疫学調査の結果（濃厚接触者にあたるかどうか）が判明するまでの間、以下の者は濃厚接触者に準じて自宅待機をお願いします。
  - a 同居家族が陽性者となった者
  - b 陽性者となった者と会食をしていた者
  - c 陽性者となった者と一方又は双方がマスク無しで一定時間（15分程度以上）近距離で会話をを行った者
- ・沖縄県の「[コロナを疑う場合の検査、受診の流れ](#)」に沿って対応をお願いします。
- ・学生は指導教員及び各授業科目の教員へメール等により濃厚接触の疑いがあること及び沖縄県の「[コロナを疑う場合の検査、受診の流れ](#)」に沿った対応を行っていることを報告すること。教職員は上司又は総務（労務）担当へ報告すること。

上記対応後において、自宅待機の期間終了について指示がない場合は、保健管理センターへ相談してください。

#### 大学への連絡（フォームへの入力）



<https://forms.office.com/r/h1tDz8bbJb>

※所要時間は2～3分程度

※状況の変更があった場合（疑いが判定に至った等）は再度入力してください。

## 学生の皆さまへ

学生の皆さまについて、連絡体制ではメールで指導教員や各授業科目担当の教員へ連絡することとしておりますが、その趣旨は、陽性・濃厚接触者等となった事実を伝えていただくとともに、

- (1) 授業を欠席せざるを得ない場合の対応について指示や配慮を受けること
- (2) 陽性の判定を受けた方においては、陽性判定直前に対面授業や実習等に出席していた場合、その状況を連絡すること

の2点になります。

(1)、(2)の場合のメール例文を下に示しますので、参考にしてください。

なお、教育担当理事から活動制限レベルに応じた授業科目の実施方法に関する通知が发出されておりますので、事前に必ず目を通しておいてください。また、各授業科目のシラバスにもご留意ください。

BCCは、複数の人にメールを送信する場合に、個人情報（メールアドレス）保護の観点から有用です。

### 【(1)の場合の例】

To: 学生本人のメールアドレス

Bcc: 指導教員・各授業担当教員のメールアドレス  
指導教員・各授業担当教員の先生方（BCC送信）

〇〇学部〇〇学科の〇〇 〇〇です。

昨日、病院を受診し PCR 検査を受けたところ陽性と診断されましたので通学及び対面授業の出席を控えます。

今日時点で、関節痛はありますが、自宅でのオンライン授業は受講可能です。

各授業担当の先生方から指示や配慮をよろしく申し上げます。

自宅療養期間：〇月〇日（〇）～〇月〇日（〇） 〇日間

「BCC」欄のメールアドレスは他のメール受信者に表示されません。指導教員または各授業担当教員のアドレスは、BCC に入力してください。

### 【(2)の場合の例】※ (1)を趣旨とするメールは別途お送りください。

To: 学生本人のメールアドレス

Bcc: 指導教員・各授業担当教員のメールアドレス  
指導教員・授業科目 XXX ご担当□□先生（BCC送信）

〇〇学部〇〇学科の〇〇 〇〇です。

昨日、病院を受診し PCR 検査を受けたところ陽性と診断されました。

保健所の疫学調査を受け行動履歴を説明したところ、私の陽性は〇月〇日の会食によるものとされ、その後の〇月△日に□□先生が担当の対面授業 XXX において他受講者との接触の疑いがあることから、保健所が授業の実施状況を確認したいとのことです。

□□先生の電話番号を保健所へお伝えしたいのですが、ご指示をお願いします。